

## 週日の説教

金 大烈 神父 2011年8月3日(水)

### 《望みに対する相応しい態度とは》

今日の福音(マタイ 15・21-28)は私達が何かを切に望む時、一番相応しい態度はどうあるべきかを語っている箇所だと思います。そして、見習うべき態度がそこにあると思います。

今日は、イエス様がいつも見せて下さった態度や、姿とはまったく違う様子を見せています。イエス様はいつも力がない人、見捨てられた人、疎外された人、小さくされた人々を優先的に助けて来たことを私たちはよく知っています。しかし、今日の福音を読んで見ますと、異邦人であるカナンの女の人がイエス様に娘の病気の癒しを願った時、本当にひどい言葉をおっしゃったのでした。

イスラエル人にとって最も人を侮辱する言葉の一つが、犬に例えた言葉を使うことです。これは韓国でも同じです。人に対して「犬の子」と言えば、相手を侮辱する一番汚い言葉です。イエス様は、そのカナンの憐れみを願う女の人に対して、「子犬にあげるのは相応しくない。あり得ない。」という言い方をします。

ここでイエス様は何故この様な態度をとったのでしょうか。いつもは、異邦人のこの女の人のような立場にある人を助けて来たイエス様が、今日は何故この様な言い方をなさったのでしょうか。実際には、イエス様はこの女の人的心を見通されたと思います。しかし、イエス様の弟子、今までご自分が教え導いてきた弟子達さえ、この女の人を非難がましい冷たい目で見ただけです。女の人がついて来てうるさくしています。『この女を追い払ってください。』という彼らの反応を見て、イエス様は心痛めたと思います。私がいつまで教え導かなければならないかと、もどかしい気持ちでこの様な態度を見せたのではないのでしょうか。イエス様はご自分の弟子達に、そして周りにはいる人々に、この女性のような信仰が必要なことを、このような心が必要であることを表すために、逆にひどい言葉を用いたのではないかと私は思います。

では、この女性を通して私達が見習わなければならないことは何でしょうか。

先ず一つ、“一番いい物のためには他の物を捨てる、捨てられる知恵が必要だ”ということです。カナンの女性は、イエス様に本当に侮辱される言い方をされたわけですが、彼女にとっては、自分の娘の病気を癒してもらうことが一番必要なことでした。そのために自分のプライド、自分を守ることも全く意味がなくなってしまうわけです。よく考えてみてください。私たちの愚かさを。一番目に必要なこと、二番目に必要なこと、必要なことが二つあるとすれば、それを二つとも皆、握ろうとする心を私たちは持っています。そのよう気持ちを持ちながら、皆様は二番目を自分の物にしようとして追い求めるうちに、一番目の物を失ってしまった経験があるのではないのでしょうか。二番目を自分の物にしたとしましょう。けれども一番目の物を失ってしまったは何の意味もなくなってしまうのではありませんか。

私達にとって永遠の命、そして現在のこの命、この二つは両方とも大事なものです。しかし、このカナンの女性を見習って、私たちが最後まで取り組まなくてはならないのが永遠の命でしょう。皆様が今の命と永遠の命と、もし二つの中で一つを選びなさいと言われてたらどうなさいますか。殉教者が選んだのは永遠の命でした。自分にとって一番素晴らしく尊い物を選ぶ時こそ、本当に信仰が必要であることを今日の福音を通して習いました。

二番目は何でしょうか。“切に願う心です。” 私たちはよく祈る時間を取っています。しかし、その祈りがどの位懇切な心で捧げている祈りか、振り返ってみましょう。「私はよく祈っているのですが、イエス様は私の祈りをあまり聞いてくれません。」と言う方がいらっしやるかも知れません。しかし振り返ってみてください。聞いて下さらなかった祈りがあるかどうかと。

よく考えてみますと、皆様方が願った全ての物はすでに叶えられたと思います。イエス様が聞いて下さらなかった祈りは一つもないと思います。しかし、祈る時にはそれが叶えられたかどうかは全然気がつかない場合が多いのです。少なくとも私の場合は、文句ばかり不平ばかり言いながらも、良く考えてみますと「全部聞き入れてもらったのだ」という結論まで行きます。皆様も同じだと思います。皆様が何かを神様に願う時には、もう少し真摯な態度で、切なる気持ちでなさって下さい。それがなかったら、私たちは祈りが叶えられているかどうかも気がつかずに、いつも不平に囲まれると思います。

三番目は何でしょうか。この女の方は“徹底的に自分を低くしました。” 信仰とはある意味でこのような謙遜さではないでしょうか。「あなたの前で私の存在は何もありません。私はあなたの前では空しくみじめなものです。あなたが助けて下さらなかったら何も出来ません。あなたが何をおっしゃってもどんな態度でも私はあなたの前には何もありません。」と言う基本的な態度がなかったら、私たちは真の信仰の意味を味わうことが出来ないと思います。

皆様、信仰を深めるために一番妨げになるのは傲慢です。この傲慢さから解放されるようにいつも祈りましょう。

ありがとうございました。